

あきた労福協

2019年6月1日

No.128

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36労館内
 TEL: 018-833-1875・FAX: 833-0506
 ホームページ <http://akita.rofuku.net>

秋田労福協第57回定期総会を開催 ～連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！～

秋田県労福協は5月23日（木）フォーラムアキタにおいて第57回定期総会を開催し、2019年度活動方針（案）をはじめ全ての議案が承認された。議長には、近藤洋二代議員（連合秋田）を選出し議事進行が行われた。最後に今後も福祉事業団体や労働組合、地区労福協と連携し誰もが安心して働くことのできる社会、貧困と格差のない社会の実現に向け労働者福祉運動の取り組みを推進していくことを確認した。

◆ 2019年度の具体的な活動 ◆

- 1. 労働者福祉運動の基盤強化 ／ 2. 関連団体との連携強化
- 3. 震災復興支援・自然災害、地域貢献事業への取り組み
- 4. 暮らしの総合支援の推進
 - ・「ライフサポートセンターあきた」の相談事業充実
 - ・政策制度の改善を自治体に要請
 - ・「フードライブ活動」への積極的な協力と連携
- 5. 貧困の解消・持続可能社会の実現

秋田県労福協第57回定期総会



新役員を代表して挨拶する黒崎会長

県内各地で「第90回メーデー」が開催される



「格差をなくし平和を守る！・笑顔あふれる未来をつくろうすべての仲間の連帯で！」のメーデースローガンのもと働く者の祭典第90回メーデーが県内10ヶ所（大



館地協2ヶ所）で開催した。今年の秋田県中央メーデーは、4月27日（土）雨天のため「にぎわい交流館AU」にて開催され、約1,200人が参加した。式典は、主催者を代表して黒崎会長の挨拶、最後にメーデー宣言「笑顔あふれる未来に向けて全力をあげて取り組むこと」を採択した。参加者全員で「団結ガンバロー」を三唱。予定されていたパレードは悪天候のため中止した。



背丈を超えるまでに育った黒松～連合秋田「復興の森」～

6月1日（土）連合秋田、労福事業団体あわせて33人が参加し開催された。



この事業は、継続的な復興支援と環境問題・森林保護の重要性を考え、東日本大震災により被災した海岸防災林の再生のため取り組んでいる。秋田労福協は、今年も東日本大震災復興支援としてこの活動に10万円寄付した。



2014年の植樹から5年が経過した苗木は、大人の背丈を超えるまで順調に成長している。将来立派な防災林になるよう草刈などの保育作業を行った。

ライフサポートセンターあきた Q&A 「お金が無く食料を買うことができない！」

**Q**

生活保護を受けている。仕事を探してはいるが、なかなか見つからない。数年前、法テラスで債務整理をしたが、まだ借金が残っており、毎月少しづつ返済しています。今月は、お金も無くなり食料を買うことも出来ず食べるものがありません。どこかお金を貸してくれるところはないでしょうか？

**A**

フードバンクと連携し、生活困窮者を救済！
生活保護受給者が、借金することも保護費から借金を返済することも望ましくありません。保護課へ現状を伝え相談することです。



今回は、緊急を要するため「フードバンクあきた」と連携し、保護費支給日までの数日間分の食料（米 10 kg・缶詰・レトルト食品など）を提供した。
『フードバンクとは』まだ安全に食べることのできる食料を個人や企業から寄贈を受け、生活困窮者や支援を必要としている方々に提供し自立への支援をはかる活動です。

けっこう使える
 roujinへ おすすめ！

給与振込は、お得がいっぱいの
 roujinへ

roujinのキャッシュカードは、全国のコンビニや
 銀行等でお使いいただけます！

あなたと
 わかちあう
 次の一歩

ATMお引出し手数料は
 即時全額キャッシュバックいたします！

2019年6月1日作成

0519Z001 ごみん共済 NEWS

たすけあいの輪をむすぶ

2019年6月、
全労済から「ごみん共済 coop」へ

秋田推進本部 (秋田県労働者共済生活協同組合)
共済ショップ秋田店 018-824-6031
受付時間 (月曜~金曜日) 9:00~17:00 (土曜日) 10:00~16:00 ※祝日除く

ごみん共済 coopは営利を目的としたいきい保障の
生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの
安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的と
しています。この趣旨にご賛同いただきお資金を
払い込んで、居住地または勤務地の共済生協の
組合員となることで各種共済制度をご利用い
ただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
ごみん共済 coop
全国労働者共済生活協同組合連合会

編集後記

5月24日、参議院本会議において「食品ロス削減推進法案」(超党派の議員立法)が、全会一致(賛成221、反対0)で成立した。法案は基本法的な性格で具体策はこれからになるが、食品ロスの削減に関する項目のほか、フードバンクと行政との連携の強化、行政からフードバンクへの支援、フードバンクへの食品の提供に伴う責任のあり方に関する調査・検討など、フードバンク活動への支援等が盛り込まれている。食糧難の時代を経験した人は、「食べものは残すな！」と教えられ、食品ロスが自然に身についている。おかげでお腹に脂肪もたっぷりついてしまったが・・・。この法案が生活困窮者をなくし貧困・格差社会の解消につながってほしいものである。今年度も労福協が取り組むフードドライブ活動に協力をお願ひする。(J・I)